

ニコニコ箱

ありがとうございました

- 内畑 瑛造さん 本日商用のため、早退させていただきます。よろしく。
- 内畑 瑛造さん 米山功労者(第9回マルチプル)になりました。
- 村田 昌之さん 岸裏さん、ありがとうございます。(無)
- 田原 久一さん 本日も、早退します。すみません。
- 松田 洪毅さん 岸裏さん、おいそがしい中有がとうございます。今日のお話よろしくお祈いします。
- 中野 幸生さん めずらしい体験をさせて頂きました。そして米山の賞も合わせて。
- 岸裏 廣澄さん 青年僧の会、講演会無事終えることが出来ました。ありがとうございました。
- 岸裏 廣澄さん 本日の卓話失礼します。話がどうなるかわかりません。よろしくお祈いします。
- 角谷 芳伸さん 岸裏さん、よろしくお祈いします。
- 林 毅 さん 日経平均20,200円。
- 山本 進三さん 本年も飲用水でモンドセレクション金賞をとりました。今年はポルトガルリスボンで授賞式です。6/4(木)の例会は勝手ながら欠席させていただきます。
- 吉田 篤生さん 岸裏さん、今日もためになる卓話宜しくお祈いします。
- 亀田 直紀さん 4月の例会も今日で最後です。
- 阪神タイガース応援団一同
岸裏さん、本日よろしくお祈いします。

本日の累計 38,000円(計11名 14件)(お誕生日お祝い 480,000円 皆出席表彰 40,000円 その他 1,472,550円 累計額 1,992,550円)

本日の例会 5月12日(火) P.M.12:30~ 於 ダイワロイネットホテル和歌山4F

■和歌山ロータリークラブとの合同例会

前回の例会 4月23日(木)

■卓話「とりとめのない話」

当クラブ会員 岸裏 廣澄さん

■ロータリーソング

内畑 瑛造ソング委員長

「いざ友よ」

次回の例会 5月21日(木)

■卓話

劇団ZERO 団長 島田 忠さん

メイキャップ 敬称略

4月24日(金) 和歌山中R.C. 吉田 篤生

出席報告 会員数 44名(内出席規定適用免除会員14名) 4月23日(本 日) 28名/37名 75.7% **皆さん、出席してください。**
黒田 純一ソング委員 4月 9日(メイキャップ後) 29名/36名 80.6%

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分
事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
創立/1959年2月23日 会報(広報・IT)委員会 瀧川 嘉彦 吉増 亨 伊東 伸夫 林 毅



良くしよう! ~ improve our Rotary! ~ 今できることを精一杯

2014~2015年度
和歌山東ロータリーのテーマ

2015年5月12日(火)
週報/VOL.56 No.40
(通巻2680)

「ロータリーに輝きを」LIGHT UP ROTARY

2014~2015年度
国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー 第2640地区 **和歌山東ロータリークラブ** URL: http://www.werc.jp E-mail: info@werc.jp

会長報告

山本 進三 会長



皆さんこんにちは。
今週は良いニュースが多くて喜んでます。まずは日経平均が再度2万円を突破し、さらに続伸する勢いがあること、そして貿易収支が2年9ヶ月ぶりにマイナスを脱却し2293億円の黒字を出したこと、またリニアが世界最速の時速603kmを達成し、川内原発の差し止め仮処分が鹿児島地裁により却下されたことなど、直接関係ない皆さんが多いかもしれませんが、日本経済全体としてはとても良い傾向が現れ始めていると思います。

日本を1つの株式会社にならんと、貿易収支は営業利益ということになります。これが黒字になることが基本ですが、貿易以外の収支を付け足した経常収支、いわゆる企業でいうところの経常利益が黒字にすることで海外に資金が流出することを防ぎ、為替を安定させ、最終的には国を豊かにするための必要条件となります。

幸運なことには日本は1981年以来、ずっと経常収支が黒字のまま推移しており、たとえ貿易収支がマイナスであったとしても海外の金融資産から来る利益や企業が海外で稼いだ利益が還元されるため、何とか黒字を保っているようです。

政府は法人税を下げ大企業が海外に本社機能を移転されないよう配慮するのもよく分かります。ちなみに2014年度、経常収支が一番良い国はドイツで、2位は中国、3位はサウジアラビア、日本は16位となっています。

逆に経常収支が悪いワーストワンはアメリカ、2位はイギリス、3位はブラジル。何となく国のイメージと合致していて頷ける結果ですね。

さて、先日19日(日)に地区の決議会に榎畑副幹事と共に参加して参りました。内容は、2015-2016年度の豊沢ガバナーエレクトが開催したPETSにおいて、地区賦課金を不正かつ強引に決議したことに対し、ガバナーエレクトに地区付加金ならびに地区予算が承認されていないことを認めるよう勧告するとともに、従わない場合、RIに解任請求をするという件で、賛成多数で可決・承認されました。

今後、豊沢ガバナーエレクトがどのような対応をするのかわかりませんが、当クラブとしても次年度の地区賦課金の支払いは慎重に他クラブとも歩調を合わせながら対応していかなければならないと思います。

相変わらずロータリーの精神とはほど遠い地区の状況ですが、2015-2016年度を最後に、このような争いが終息し正常に戻ることをお祈いします。

今日は岸裏会員の卓話です。演題は「とりとめのない話」ですが、面白いお話、ためになるお話をしていると期待しております。本日もよろしくお祈いします。

幹事報告

吉田 篤生 幹事



- 皆さんの袋の中に、年間行事予定表を入れております。変更した所は、5月14日の例会が5月12日に和歌山R.C.との合同例会になったことと、ライラの日程を追加したことの2点です。
- 来週、再来週の例会は休会となります。次回は5月12日(火)の合同例会です。例会は、和歌山R.C.の作法にのっとって行いますので、12時10分より到着次第にお食事を始めていただきますのでよろしくお祈いします。
- 和歌山県青年僧の会より文化講演会への協力に対して御礼状が届いております。……………回覧
- 和歌山県交通遺児を励ます会より、サンフレンド通信が届いております。……………回覧
- 和歌山市障害児者父母の会より、50周年記念誌をお送りいただいております。……………回覧

委員会報告

青少年委員会

赤井 雅哉 委員長



第33回ライラ研修セミナーが5月30日(土)～31日(日) 高野山・恵光院にて開催されます。ご参加頂ける方は、参加申込書にご記入の上お申し込み下さい。

米山奨学会からの表彰



おめでとうございます!

中野 幸生さん	米山功労者	第9回マルチプル
三毛理一朗さん	米山功労者	第6回マルチプル
野井 晋さん	米山功労者	第6回マルチプル
西本 亨さん	米山功労者	第6回マルチプル
玉置 博康さん	米山功労者	第6回マルチプル
中江 遵義さん	米山功労者	第6回マルチプル
八幡 建二さん	米山功労者	第6回マルチプル
内畑 瑛造さん	米山功労者	第5回マルチプル
岩橋 五郎さん	米山功労者	第3回マルチプル
黒田 純一さん	米山功労者	第3回マルチプル
赤井 雅哉さん	米山功労者	

卓話 「とりとめのない話」

当クラブ会員 岸裏 廣澄さん



本日は卓話をご指名頂きありがとうございます。今日の題目は「とりとめのない話」にしました。このとりとめという言葉は、しまり、まとまり、ひきとめる、はっきりさせるという意味です。本日の話はこれらが無い話です。即ち支離滅裂であります。

まず始めに私の寺の楠木の話です。入会時に笹島さんに楠木の写真を週報に載せて頂きました。あれから13年、今年の1月に残念ながら伐採いたしました。

樹齢110年でした。週報に載せて頂いたこと、寺としての思い出があり、新しい墓地の休憩所のテーブルとイスに使いたく、製材し今乾燥しています。3年後に出来ると思います。

本題に入ります。普段私達が使っている言葉には仏教語がたくさんあります。いくつか紹介します。

ロータリーソングに、やあ、おい、手を振ろう、とあいさつを重んじています。この挨拶です。最近人と人とのつながりが希薄になったといわれる中、見直したいのが「挨拶」です。たとえ知らない人にでもあいさつすることによって自然と親近感がわいてきます。

あいさつをすることで親しみの気持ちを伝え、敵意がないことを示しているわけです。

家庭でも「おはよう」「行ってらっしゃい」のひとつで心が向きあい家庭がまとまり、会話の機会が得られます。

挨拶はもともと禅の用語で禅宗のお坊さんが門下の弟子に僧の悟りの深さを試すためにした問答のことを「一挨拶(いちあいいちさつ)」といいます。

挨拶は押す、拶はせまるという意味です。僧侶同士が互いに質問を投げかけ意見を交し合うことで悟りの境地の深さや修行の深さを見極めたようです。

あいさつと同じように会釈があります。これは「和会通釈(わえつうしゃく)」の略語です。これは数多くの説法や経典を照らし合わせると互いに矛盾しているように思える教えがあります。その相違点を探って共通する意味を見だし、根本の真意が通じるようにまとめていくことをいいます。

会釈はふだん混み合っている電車や店内で席を譲ったりした時、知らない同士であってもさりげなく目を合わせ微笑んで軽く会釈することはありませんか。

江戸時代にそのしぐさを「会釈のまなざし」といいました。「こんにちは」「ありがとう」「どういたしまして」というような気持ちを言葉に変わって目で返したようです。ことわざに「目は口ほどにものを云う」とあります。相手に何かを伝えたいと思えば、目の表情ひとつで不思議と伝わるものです。最近はトラブルを避けるために見て見ぬふりをしてしまうことも多い世の中、それでは気持ちが通じ合いません。ふと目でお互いの気持ちを感じあい相手を思いやる事が出来ればもっと気持ちのよい社会になると思います。

最後に一言、ふだんなにげなく云っている言葉、しぐさがあります。自分ではよかれと思っていても相手がそう思っていない。自分ではこの行いが絶対だと思っていても別の所で否定されることがたくさんあります。

このことを奈良に興福寺という大きい禅寺があります。そばには猿沢の池があり、風光明媚な所があります。

昔、興福寺の高僧の言葉です。

手を打てば 魚集まる 鳥逃げる 女 茶を出す 猿沢の池

池のたもとで手を打ったならば、魚はえさがもらえと思い集ってきます。鳥はびっくりして逃げてしまします。茶店の女はお客が来たと思いついて茶を出してきます。

手を打つことで色々な取り方があると云うことです。私自身も気をつけてがんばっていかうと思っています。本日はありがとうございました。